



# 合格体験記



氏名：E.M.

## 【合格した自治体(校種・教科)】

大阪府（高校・数学）

## Q 採用試験に向けて...

### ①いつから勉強しましたか

東京アカデミーの課外講座や教職ナビで行われているスタート講座を受けていましたが、本格的に始めたのは4回生になってからです。

### ②どのような教材を使っていましたか

- ・全国過去問（教職教養、一般教養）：時事通信社
- ・セサミノート（教職教養、一般教養）：七賢出版
- ・東京アカデミーの参考書：七賢出版

### ③勉強方法

まず教職教養から始めました。最初はセサミノートを使い勉強していたのですが、全国過去問が発売されてからは教職教養・一般教養共に全国過去問で勉強しました。間違えた問題は印をつけておき、2回以上間違えたら東京アカデミーの参考書で勉強し直し、ノートにまとめ、繰り返し解くことを心がけました。

教育基本法の前文だけはしっかり覚えるようにしていたので、午前中はこの前文の確認と主に理系教科を勉強し、午後からは教職教養や社会など暗記系のものを勉強しました。

### ④一日何時間勉強しましたか

平日はなかなか時間がとれず平均3時間くらいです。休日は平均5時間くらいです。

### ⑤どこの自治体を受けてどのような対策をしましたか

大阪府を受け、一次試験は筆記と集団面接でした。

筆記は、全国過去問を解きました。

面接はナビの面接練習に参加し、他ナビの面接練習の見学も行けるだけ行きました。面接練習が無い時は先生に頂いた講評をもとに自分たちで行いました。新聞のスクラップや、大阪府の教育に関する取り組みを調べました。

### ⑥二次対策はどうしていましたか(実技・専門・模擬授業)

専門は、大阪府の過去問を主に解きました。また高校生の時に使っていた問題集を使い、自分の苦手な範囲の克服や忘れていた内容を思い出すために使用していました。数学の公式をまとめた公式集を持ち歩き、ちょっとした時間に見るようにしていました。

模擬授業は、数学ナビで週1回模擬授業対策の時間を設けていたのでこの時間を中心に進めていました。また、高校時代に使っていた授業のノートを残しているのでそれを見て参考にしたり、学習指導要領解説を何度も読み、ポイント等の理解に努めました。

### ⑦あなたにとって教職ナビとはどのようなものですか

今の私があるのは教職ナビのおかげです。多くの事を学ばせてもらい、素敵な仲間と出会う事が出来た事で、とても充実した大学生活が送れました。どんな時でも力を貸してくれ、支えてくれた先生方や仲間のおかげで最後まで出来たと思います。だから私にとって教職ナビはかけがえのない存在です。

### ⑧ゼミ(授業)と教員採用試験との兼ね合いはどうしていましたか

少しでも教員採用試験の為に勉強がしたいと思って焦った事もありましたが、勉強に無駄はないし、ゼミの勉強はゼミと気持ちを切り替えてやりました。

### ⑨バイトやボランティアはどうしていましたか

バイトはしていませんでした。  
ボランティアは3回生まで行っていました。

### ⑩挫けそうになったときどうしていましたか

友達としゃべりました。話すことで気持ちが落ち着き、モチベーションも上げる事が出来ました。また、私は家が近かったので、散歩がてら一回家に帰って気分を入れ替えてからもう一度学校に戻ってきたりしました。学校には頑張っている仲間がいると思うと、いったん家に帰っても自然に足が学校に向かいました。

### ⑪大学生活中にやっておいたらいいこと

少しでも多くの事を学ぶために、ボランティアでも何でもいいので、いろんな事を経験したらいいと思います。それから友達とたくさんしゃべったり、議論する事も良いと思います。他人の意見を聞く事は自分の考え方の幅を広げてくれ、些細なことでも自分でよく考える事で考える力がつくと思うからです。大学ほど多種多様な考え方や意見が聞ける機会は滅多にないと思うので、積極的に多くの人と関わって行って欲しいです。

## Q これからどのような先生になりたいですか

心の距離だけはどんな時でも近くにいれる先生になりたいです。何事も諦めず、前に向かって成長していきたいです。

## Q これから教員採用試験を受ける方へのメッセージ

勉強は大変だし、たくさん悩む事もあると思います。そんな時は無理せず、息抜きするときは息抜きして下さい。メリハリをつける事で前に向かって進みやすくなり、悩んだ分だけ成長出来ると思います。また、立ち止りなくなった時は周りを見て下さい。同じ目標に向かって頑張っている素敵な仲間がたくさんいると思います。私は教職ナビの仲間を支えられて乗り越える事が出来ました。皆さんの周りにもそんな仲間がたくさんいて、教員採用試験だけでなく、この先も将来を通じて支えてくれると思います。そんな仲間と共に切磋琢磨しながら頑張ってください。